

放課後等デイサービス 開設後1年を振り返って

篠ヶ瀬 信行

聖隷おおぞら療育センターの児童通所部門である児童発達支援センターひかりの子の事業として開始した放課後等デイサービスが、2014年4月で開設後1年を迎えました。

このサービスは、特別支援学校に通う医療的ケアの必要な重症心身障害児を主な対象としてスタートしました。登録者は、10名から始まり年度末には29名となりました。静岡県立西部・浜北・浜名・袋井の特別支援学校生徒が利用登録をされています。

利用者の障害像としては、登録者29名の内、横地分類A1が21名、A2が4名、B1が2名、A3・A4がそれぞれ1名です。医療的ケアでみると、気管切開をしている方が9名、経管栄養の方が18名です。

1日の利用定員は5名であり、開設当初の2013年4月1ヶ月間の1日の平均利用者数は、29名でしたが、1年間の平均では43名となり利用率が上がりました。その内訳

として、放課後利用日の1日平均利用者数は年間36名で、土曜日や長期休業期間中の1日利用日は平均5.8名であるため、1日利用日のニーズが高いことがわかります。

利用者や保護者の意向などを基に児童発達支援計画を立案し、それを基準として各職員が、個々の活動や訓練を行ってきました。利用者にとって有意義に感じられるように、個々の障害に沿ったかわりを実践してきました。

放課後利用日では、学校の授業終了後のサービス提供となるため、限られた時間内で充実した活動や訓練を実施するようにプログラムしました。また、1日利用日には、支援計画に基づいた活動や訓練をじっくりと時間をかけて行いました。活動中には、楽しい表情や心地よさそうな表情などが見られました。

年間の支援計画の振り返りや保護者の皆さんに説明した際には、「安心して預けられる」「楽しんでいよう良かった」「今まで、家にいることが多かったので利用できるところができて、生活リズムが保てて良かった」ということばを聞くことができました。

放課後等デイサービスが、在宅で過ごしている利用者やその保護者にとって安心して楽しく利用できるサービスであり続けられるように、支援計画の内容の充実やサービス内容の質の向上に努めていきたいと思えます。利用者一人ひとりの表情を良く見て関わることを基本とし、個々のニーズにできるだけ応えられようように、2年目となる今年度も取り組んでいきたいと思えます。



夏期デイケアスタッフ募集

学校に通っている重症心身障害児に夏休みを活動的に過ごす場を提供するプログラムです。身辺介護と遊びの支援が中心になります。スタッフ対利用者比1対1を予定しています。お手伝いしてくださる方を募集します。



- 期 間** 8月4日(月)～8月29日(金)※土日は休業
就業前オリエンテーションを実施します。
8月2日(土)10時～12時
- 募集人員** 20名
- 応募資格** 障害児療育に理解と関心のある社会人
福祉/看護/介護/保育/リハビリ等専攻の学生
- 勤務時間** 9時15分～16時45分(休憩1時間)
- 給 与** 時給850円以上(経験に応じて加算)
- 交 通 費** 当院規定に準ずる
- 連 絡 先** 聖隷おおぞら療育センター 担当/川上・早戸
☎053-437-1467(受付/平日8時30分～17時)

	3月	4月
ショートステイ利用者数 (延べ利用日数)	114名 (589日)	104名 (581日)
日中一時支援利用者数 (延べ利用日数)	4名 (15日)	5名 (18日)
ボランティア参加人数 (グループ数)	17名 (5グループ)	12名 (2グループ)
実習者数 (グループ数)	0名 (0グループ)	0名 (0グループ)